## 入札公告の訂正

平成25年12月９日
分任支出負担行為担当官
防衛省装備施設本部副本部長
（艦船車両担当）　市川　武彦

◎調達機関番号　010　◎所在地番号　13

**○第144号**

１　掲載日　平成25年10月18日第104号（号外政府調達第196号）

２　訂正内容

⑴13ページ２段目上から26行目

「１⑵①～⑩　平成25年12月９日18時00分」を

「１⑵①～⑦⑨⑩　平成25年12月9日18時00分

１⑵⑧　平成26年１月９日18時00分」に、

⑵13ページ2段目上から35行目

「１⑵⑧　平成25年12月10日11時10分」を

「１⑵⑧　平成26年１月10日13時10分」に、

⑶14ページ１段目上から１行目

「⑺　Time-limit for tender : 18 : 00　9 December 2013 」を「⑺　Time-limit for tender : ⑶①～⑦⑨⑩　18 : 00　9 December 2013　⑶⑧　18 : 00　9 January 2014」に訂正します。

## 入札公告の訂正

次のとおり訂正します。

平成25年12月９日
分任支出負担行為担当官
防衛省装備施設本部副本部長
（艦船車両担当）市川　武彦

◎調達機関番号　010　◎所在地番号　13

**○第146号**

１　平成25年10月21日第112号（号外政府調達第197号）21ページ１段目上から９行目「①～⑪　平成25年12月11日18時00分」を「①～⑥、⑧～⑪　平成25年12月11日18時00分　⑦　平成26年１月22日18時00分」に、同21ページ１段目上から20行目「１⑵⑦　平成25年12月12日14時10分」を「１⑵⑦　平成26年１月23日13時45分」に、それぞれ訂正します。

## 入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

本入札公告に記載の工事は、技術提案を共通化できる３件の工事を対象に、一括して公告し、審査を実施する試行工事である。

本件の入札にあたっては、電子入札システムにおいて３件の工事が別々に案件登録されているので、複数の工事に参加を希望する場合は、参加を希望する工事毎に申請書の提出及び入札が必要である。

なお、提出等の期限の定められているものについて、その期限までの期間については土曜日、日曜日及び祝日等（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第１条に規定する行政機関の休日）を除くものとする。また、提出等の時間については、定めのない場合を除き、システムの稼働時間、支出負担行為担当官の勤務箇所における勤務時間の時間内とする。

平成25年12月９日
支出負担行為担当官
東北地方整備局長　小池　　剛

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　04

１　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名

①　鳴瀬川野蒜水門災害復旧工事（電子入札対象案件）

②　北上川下流月浜第二水門災害復旧工事（電子入札対象案件）

③　北上川下流釜谷水門災害復旧工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所

①　宮城県東松島市野蒜地内

②　宮城県石巻市北上町十三浜地内

③　宮城県石巻市釜谷地内

⑷　工事内容

①　水門災害復旧工事　１式、土工　１式、基礎工（鋼管杭）　φ600㎜　Ｌ＝6.0m　Ｎ＝25本、φ600㎜　Ｌ＝7.5m　Ｎ＝14本、φ600㎜　Ｌ＝9.0m　Ｎ＝29本、φ600㎜　Ｌ＝10.0m　Ｎ＝21本、φ600㎜　Ｌ＝10.5m　Ｎ＝28本、φ600㎜　Ｌ＝12.0m　Ｎ＝14本、φ600㎜　Ｌ＝13.5m　Ｎ＝46本、φ600㎜　Ｌ＝16.5m　Ｎ＝15本、地盤改良工（締固め改良工）　Ｎ＝3,481本、地盤改良工（表層安定処理工）Ａ＝1,800㎡、水門躯体工　１式、護床工（根固ブロック）　Ｎ＝41個、護岸工（大型コンクリートブロック）　Ｎ＝4,852個、水門設備工　１式、仮設工　１式

②　水門災害復旧工事１式、土工　１式、基礎工（鋼管杭）　φ800㎜　Ｌ＝28.0m　Ｎ＝198本、φ800㎜　Ｌ＝29.5m　Ｎ＝37本、φ800㎜　Ｌ＝30.5m　Ｎ＝44本、地盤改良工（締固め改良工）　Ｎ＝687本、水門躯体工　１式、コンクリート管理橋　１式、護岸工（大型コンクリートブロック）　Ｎ＝547個、根固工（根固めブロック）　Ｎ＝129個、仮設工　１式

③　水門災害復旧工事１式、土工　１式、基礎工（場所打杭）　φ1,000㎜　Ｌ＝66.5m　Ｎ＝80本、φ1,000㎜　Ｌ＝68.0m　Ｎ＝25本、φ1,000㎜　Ｌ＝69.0m　Ｎ＝32本、地盤改良工（深層混合処理）Ｎ＝36本、水門躯体工　１式、仮設工　１式

⑸　工期

①　契約締結日の翌日から平成28年３月７日まで

②　契約締結日の翌日から平成28年３月18日まで

③　契約締結日の翌日から平成28年３月18日まで

⑹　使用する主要な資機材

①　コンクリートＶ＝約9,700㎥、鉄筋Ｗ＝約200ｔ、鋼管杭φ600㎜（Ｌ＝6.0m～16.5m）Ｎ＝192本、鋼矢板ＳＰ－10Ｈ型（Ｌ＝２m～12.5m）Ｎ＝191枚（可とう、異形含む）

②　コンクリートＶ＝約8,600㎥、鉄筋Ｗ＝約700ｔ　鋼管杭φ800㎜（Ｌ＝28.0m～30.5m）Ｎ＝279本、鋼矢板ＳＰ－10Ｈ型（Ｌ＝４m～16m）Ｎ＝292枚（可とう含む）、鋼矢板ＳＰ－Ⅲ型（Ｌ＝15m）Ｎ＝662枚

③　コンクリートＶ＝約12,700㎥、鉄筋Ｗ＝約2,000ｔ　鋼矢板ＳＰ－10Ｈ型（Ｌ＝３m～10.5m）Ｎ＝219枚（可とう含む）

⑺　工事実施形態　本工事における工事実施形態は下記のとおりとする。

①　本工事は、総価契約単価合意方式の対象工事である。

②　本工事は、発注者が新たな積算方式を用いて積算を行う「施工パッケージ型積算方式」の試行工事である。

③　本工事は、入札時に施工方法等に関する技術提案（以下「技術提案」という。）を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の適用工事である。

④　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

⑤　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。

⑥　本工事は、「土木請負工事工事費積算基準」等により各種工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率（率分）及び現場管理費率にそれぞれの補正係数を乗じることとしていることから、見積にあたっては留意すること。

⑦　本工事は、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する試行工事である。

⑧　本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るための余裕期間を見込んだ試行工事である。

⑻　本工事は、資料の提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたい者は、承諾を得て紙入札方式に代えることができるものとする。